



e-Administration
Advisor Club

会報 わかくさ

第21号

2019年 4 月 発行

自治体や中小企業のさまざまなITの
お悩みをベテラン集団が解決

<http://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

～ ICT の強い街づくり ～

今、あらゆる自治体に求められていることは、技術革新をどう住民サービスや地域の活性化に結びつけ、新たな価値を創造していくかということである。

■ 命題: 2040年、あなたの自治体は存在していますか？

これは、総務省の研究会で議論された命題である。

「テクノロジーの進化」と「人口減少」の2つの不安を前にして、地方自治体は今何をなすべきか、明るい未来を獲得するために、生き残る道を選択する時期は「まさに今」であることを認識する必要がある。“2040年までは時間がある”と考えるのは危険である。時代の変革に逆らうのは簡単ではない。退去する選択肢もない。時代の潮流に乗って攻める以外に道はない。時代の変革を予測し乗り切る方法を考えていく。

1. 「テクノロジー」による課題・・・超スピードで進化している。

テクノロジーは人々を幸せにすることこそ、その真髄であり、生活の利便と幸福を享受してきた。第3次産業革命は、インターネットによる情報革命、場所と時間の制約をなくし、「できなかったこと」を可能にした。第4次産業革命は、IoT、AIの進化によって、すべてがテクノロジーで処理される時代と言われている。IoT、AIは、果たして、国民生活に利便や幸福をもたらすであろうか。

2. 「人口減少」による課題・・・静かながらもインパクトがある。

2010年の1億2800万人をピークにして減少しはじめ、2040年には約1億1000万人になると予想されている。日本に忍び寄る高齢化社会は、「2025年問題」(団塊世代が後期高齢者)、2042年

問題(団塊ジュニア世代が高齢者)、2045年問題(65歳以上の人口の割合が全国37%、奈良県41%)、などの課題を有し、要介護人口の増加、介護人材の不足が予想されている。

■ ICTの強い街づくり

人生100年時代、超高齢化社会が進行する中で、高齢者の生きがいや活躍する場の提供が課題となり、ICTを活用し、高齢者がICTの進展に取り残されず、サービスの利便を享受し、QOL(Quality of Life)を享受できる社会を目指す。e-AACは、子供から高齢者まで世代を超えて、地域が育む子供ICT教育、スマート市民講座、高齢者いきいきはつらつICT講座に取り組み、ICTの強い街づくりを目指してきた。高齢者の成功体験・ビジネス体験等の知見を伝授し、IoT、AI等を理解し、活用できるスキルを身につけ、次の視点で活動している。

1. 地域で子供・住民、高齢者等がICTの知識や、ものづくりを学び合い、世代を超えて知識・経験を共有する。
2. 高齢者の経験・知見を次世代に継承して、官民協働して地域が低コストで運営できる仕組みを整備する。

本格的なIoT、AI時代に備え、デジタル技術によって、QoL(Quality of Life)を向上させ、豊かな人生を享受できる社会の実現を目指す。



e-AAC 事務局長
多田 充朗

今月のトピックス！

『ロボット・プログラミング』講座の開始

ロボットカーを製作してプログラミングを体験する講座を始めました。

- ・実施日: 2/13, 2/20
- ・奈良市三笠公民館
- ・参加者: 子供 13名



『パソコン講座参加者累計』1万人突破

平成22年から各地で実施しているパソコン講座の参加者累計は、平成31年2月現在、11450名になった。現在、8カ所に開催している。参加者の意向やパソコン研修の目的を調査して、今後の講座の内容を充実させ、元気な街作りを考えていきます。

『平成30年e-AAC十大ニュース』

平成31年新年会にて、参加者による投票の結果、上位3は、次のようになりました。詳細は6ページを参照ください。

- ・1位: パソコン市民講座の継続
大宮教室、耳成教室、学園前教室、高田教室・・・8～9年継続
- ・2位: 子どもゆめ基金事業採択件数の拡大
平成26年より、5年間で40回の実施
- ・3位: 明日香村基盤整備事業の継続
過疎地域における光ケーブル、Wi-Fi敷設事業支援

6 Page

講演会『万葉集の出発』の開催

e-AACは、毎年新年会において、講演会を開催しています。今年は、「万葉集の出発」～持統天皇・藤原宮・「あめのかぐやま」～を取り上げました。

- ・実施日: 平成31年2月2日
- ・講師: 村田正博氏

大阪市立大学名誉教授



6 Page

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

1. e-AAC 自治体会員への『ちょっとアドバイス』サービス

e-AAC の自治体会員を定期的に巡回訪問して、それぞれ自治体が抱えている ICT に関する課題について、『ちょっとアドバイス』を行っている。

(1) 自治体会員:

- ☉ 天理市
- ☉ 葛城市
- ☉ 大和高田市
- ☉ 橿原市
- ☉ 下市町(新規)
- ☉ 奈良市(準会員)



1/16 並河天理市長と市長室にて

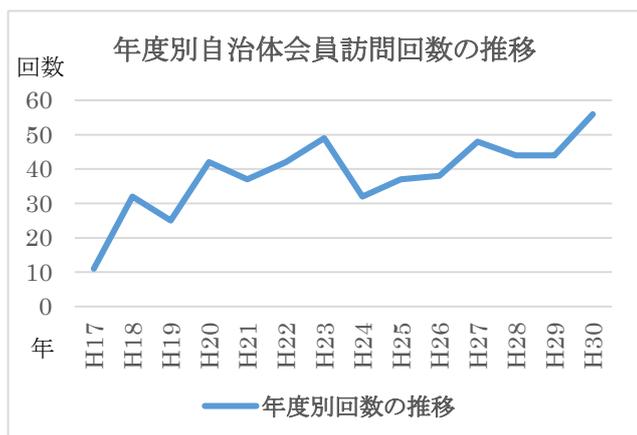
(2) 平成 30 年度ちょっとアドバイス

・訪問回数 合計:56 回

(3) 平成 30 年に実施した主な『ちょっとアドバイス』

- ① 行政 IT システムの新たな調達手法(神戸市)
- ② トップ 100 社を一挙公開、IT 業界就職人気度
- ③ RPA ツール一覧(2018 年 1 月版)
- ④ 市の定型作業を RPA で効率化 奈良市実証実験
- ⑤ つくば市 RPA 実証研究報告書
- ⑥ 夏季教職員向け「プログラミング」教室ご案内
- ⑦ ICT の強い街づくり
- ⑧ 市町村におけるクラウド等の検討状況(2018.4.1)
- ⑨ 自治体クラウドグループ一覧(総務省 2017.10 現)
- ⑩ 利用すべき技術、IT エンジニアが選んだトップ 10
- ⑪ 市区町村におけるクラウド導入等の検討状況
- ⑫ 自治体クラウド化、県庁所在地・政令都市の状況
- ⑬ 日経コンピュータ顧客満足度調査 2017-2018
- ⑭ 「子どもを育む大宮まつり」(7月 28 日)
- ⑮ 「産業と地域」の未来
- ⑯ 公立より進んでいる? 私立中・高の情報化実態調査
- ⑰ 2018 年度パソコン・スマホ市民講座実施状況
- ⑱ セキュリティ-10 大脅威、知っておくべきネット詐欺の手法
- ⑲ RPA の顧客満足度、NTT データが初代王者に
- ⑳ 地方自治体における情報システム基盤の現状と方向性の調査結果

(4) 年度別自治体会員訪問回数の推移



2. 明日香村プロジェクト

(1) 公衆無線 LAN 環境整備業務

- ☉ 期間:2018 年 4 月 2 日~12 月 28 日
- ☉ 業務内容:通信事業者に委託するにあたり、事業者選定から事業者の工事及び完工までの作業において、工事などの妥当性や方向性などを助言し、検収に至る作業を支援した。



Wi-Fi 現地調査



Wi-Fi 設備の検収

(2) 細川・上居地区における住民意向調査業務

- ☉ 期間:2018 年 11 月 1 日~2019 年 3 月 29 日
- ☉ 業務内容:通信事業者が光ケーブルを敷設するにあたり、住民への説明会、及び希望者をまとめる作業において、住民の希望や質問などに対応し、希望者をまとめる作業を支援した。
- ☉ 調査結果:

地域	光回線意向		サービス				共聴加入者	
	有り	無し	インターネット		光電話	テレビ		
			新規	ADSL 変替				
細川	24	5	24	9	7	15	20	29
上居	11	2	11	3	7	5	5	7
(名義違い)	—	—	—	—	—	—	—	6
合計	35	7	35	12	14	20	25	42
	83%	17%	83%	29%	33%	48%	60%	

※共聴システムは上記地域以外で19戸が加入している。

- ・光回線の敷設を希望する住民が非常に多い。
- ・光電話・テレビの要望は約半数で有るが、理解不足の影響が高いと思われる。
- ・調査地区では現在共聴アンテナ設備の更新が喫緊の課題であり、テレビ視聴を無視出来ない状況。
- ・共聴地域は今回の調査地域を主として、隣接の上・尾曾にも加入者が存在している。
- ・共聴システムの元は細川となって、他の 3 大字にも配している。

3. 草の根サイバーセキュリティ全国運動連絡会(Grafsec)

第5回の連絡会が開催されました。Grafsec は、セキュリティの問題を、市民レベルに広める全国運動を展開している。e-AAC は、全国会員として、年 2 回、この活動に参加している。

- ☉ 開催日:平成31年3月 14 日、15 日
- ☉ テーマ:「地域で考えるサイバー空間の新しい技術とリスク」
- ☉ 会場:東京都婦人会館
- ☉ 事務局:ラック(株)
- ☉ 参加団体:34 団体及び
内閣府、国交省
- ☉ ワークショップ
- ☉ 意見交換会



基調講演

「第2部会」からの報告(Ⅰ) 学校教育情報化支援

■平成30年度「学校支援」報告

19年度は「ビッグデータ、AIロボット、IoT時代の中、プログラミングの教育は絶対に欠かせず、e-AACとしても支援を続けていきたい。2020年から小学校プログラミング授業の必須化が決まっており、タブレット、スマホ/リテラシーを積極的に進めていきます。

H30年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
パソコンクラブ活動支援	2	3			1	5	2	2	4	3		22
学年タブレット授業支援						2	1					3
スマホ・ケータイ啓発講座	1	3	9		1	1	1	1			1	18
パソコン構造と機能を学ぶ			2			1						3
子どもパソコン制作(IctigoJam)						1				1	1	3
プログラミング(Scratch)体験教室		3			2	1	2	2	2			12
月計	3	9	11		4	11	6	5	6	4	2	61
奈良市	佐保台小 西大寺北小 月ヶ瀬中 朱雀高校 大宮小 神功小											
天理市、桜井市 橿原市、大和郡山市 御所市、宇陀市 北葛城	柳本小 丹波市小 王寺工業高校 金橋小 矢田南小 大淀擁護 菟田野中 郡山西中 大宇陀小 桜井東中 掖上小 飛鳥学院 西大和学園 安倍小											

1. 奈良県青少年社会活動推進課委託事業 ×13回

1	6/8	橿原市立金橋小	8	7/18	奈良市月ヶ瀬中
2	7/2	大淀擁護学校	9	7/27	御所市立掖上小
3	7/8	大和郡山矢田南小	10	10/2	西大和学園
4	7/10	菟田野中	11	11/21	朱雀高校
5	7/11	大和郡市立郡山西中	12	12/10	大淀養護学校中高
6	7/12	大宇陀小	13	19.3/14	桜井市立安部小
7	7/17	桜井市立桜井東中			



【スマホ講座:「王寺工業高校」】

2. 奈良県協働組合支援事業 ×25回

1)スマホ啓発講座 × 3回

1	5/29	天理市立丹波市小	3	9/9	飛鳥学院
2	6/6	王寺工業高校			

2)小学校授業支援「授業支援」× 20回

1	5/14	佐保台小 PC クラブ	11	10/19	〃 2年授業
2	5/21	柳本小 PC クラブ	12	10/30	〃 4年授業
3	6/11	佐保台小 PC クラブ	13	10/22	柳本小 PC クラブ
4	6/14	佐保台小 PC クラブ	14	11/5	柳本小 PC クラブ
5	6/25	柳本小 PC クラブ	15	11/26	西大寺北小 3年授業
6	9/27	西大寺北小 PC クラブ	16	12/3	佐保台小 PC クラブ
7	10/1	佐保台小 PC クラブ	17	12/5	柳本小 PC クラブ
8	10/15	佐保台小 PC クラブ	18	1/17	西大寺北小 PC クラブ
9	10/18	西大寺北小 科学ク	19	1/17	科学クラブ
10	10/18	〃 PC クラブ	20	1/28	佐保台小 PC クラブ

3)プログラミング教室:「子供パソコン教室」×2回

1	10/14	柳本公民館	2	3/26	平城公民館
---	-------	-------	---	------	-------



【スマホ講座:「安倍小学校」】

「第2部会」からの報告(Ⅱ) 学校教育情報化支援

3. 草の根サイバーセキュリティ助成金事業

1) スマホ啓発講座 2回 2,746名

1	6/20	天理市立柳本小 児童、保護者、先生
2	7/28	大宮まつり



【「スマホ講座」:天理市立柳本小学校】

「インターネットリテラシー」とスマホのブレーキ

1. 広がるネット社会:
●「正面から向き合う」「**欠かせないブレーキ**」
★大坂の地震、ちょうどあの通学時間でした。皆さんは何もなかったですか?
★スマホは「正面から向き合う」が大切
2. “インターネットリテラシー”を知る事は、
●**“ネットのモラル”**を勉強する事!
3. SNS (LINE Facebook Twitterインスタグラム等)
●SNSを“**上手に使えば世界は広がる!**”
4. **ゲーム依存症:病の前に**
●**「ルールを決めて」自分で身を守ろう!**
5. スマホ社会:**加害者/被害者は紙一重。明日は君かも!**
●**ブレーキで“安心/安全”!**

4. 「子どもゆめ基金」助成金事業(1次)

1) パソコン構造と機能: No.1820247: 3回

1	7/1	都跡ふれあい会館
2	7/8	明日香村中央公民館
3	10/21	下市町観光文化センター

2) プログラミング(Scratch): No.1820248: 8回

1	6/3	天理市立櫛本公民館	:基礎
2	6/10	天理市立櫛本公民館	:応用
3	6/17	天理市立柳本公民館	:基礎
4	9/19	奈良市立大宮小学校	:低学年
5	9/26	奈良市三笠公民館	:低学年2回
6	10/3	〃	:高学年
7	11/10	天理市立式上公民館	
8	11/17	天理市立櫛本公民館	

コンピューターのしくみ

1. ハード:コンピュータと仲間
スーパーコンピュータ 銀行、会社等の大型コンピュータ
パソコン ノートパソコン タブレット スマホ
AIロボット: AI「人工知能」
2. ソフト:コンピュータの言葉(プログラム)
●プログラム言語いろいろ
●Visual Basic ●Java
●Basic.NET ●C
●COBOL ●C++
●小学校の授業:2020年から小学校で必須化
●クラブ活動・夏休み教室等で実施されている
●必須化されるプログラミング授業
●Scratch:マサチューセッツ工科大学
●プログラミング:文科省御託
3. インターネット:スマホとスマホ間をつなぐ

3. インターネットのしくみと働き

●パソコンはインターネットに
「プロバイダー」がつないでくれる
●スマホはケータイ電話会社がつなぐ

個人ユーザー

【パソコン構造と機能を学ぶ:「コンピュータ&インターネット」】

5. 「子どもゆめ基金」助成金事業(2次)

■「ものづくり体験教室」: No1822469 6回

1) プログラミング(Scratch) × 4回

1	12/2	橿原市立耳成地区公民館
2	12/22	奈良市立平常地区公民館
3	19. 1/12	橿原市立鴨公地区公民館
4	19. 1/27	橿原市立真菅地区公民館



【プログラミング(Scratch) 教室】

2) プログラミング(ロボット教室) × 2回

1	19. 2/13	三笠地区公民館(1) * 大宮小学校
2	19. 2/20	三笠地区公民館(2) * 大宮小学校



【子どもパソコン教室:「ロボカーを動かそう!」】

■2019年度取組 ICT 授業計画

1. 2020年度新学習指導要領:「プログラミング」教育推進

- 1) プログラミングの基礎
- 2) ロボットカーをプログラム
- 3) パソコン構造と機能、プログラミング
- 4) インターネット、ネットリテラシー
- 5) パソコンの原点を見てみよう!

2. ちょっと“待ってね”スマホ マナー守って楽しく使う

- 1) スマホの連続使用1時間以上は使わない
- 2) ゲーム“二つの約束” 2時間以上は続けない
・ゲーム依存症、なる前に【自分でルール決めて守ろう】
- 3) 違法や有害サイトは見ない
- 4) ネットで出会った人には合わない

“ちょっと待って”
●スマホ「モラル」は“心” :「**自戒の心**」自分を戒めよう
●スマホの“心”「笑顔」:自分の分身でもある
●大切なのは**自戒の心**
●いつも**笑顔**で自分よし相手よし周りに優しくしよう

・スマホ使用時間:1日2時間までとする
・夜9時に使用をやめる:・スマホ・オンラインゲーム
・住所名前は書かない:使えないとき家族に相談
・人の悪口は書かない
・自撮り動画(写真)は送らない →信頼できる人に限る!
・動画サイト;アプリは家族に相談する
・ながら「スマホ」はしない →歩きながら →食事の時間
・有料サイトは使わない
・フィルタリングは設定する
・ネットで知り合った人合わない →会っては絶対にダメ!
・ルール違反は1ヶ月の使用停止
違反:ルール違反は__日使用禁止
署名

【スマホ啓発講座:「自分よし・相手よし・周りよし」&「ルール」】

「第3部会」からの報告 パソコン研修

パソコン教室では、受託事業と自主事業の二本立てで推進中です。受託事業では大和高田市からは昨年から引き続き「スマホ講座」を受託しました。自主事業では学園前教室に加え本年度では大宮教室も奈良市教育委員会の後援名義を取得することができ、安定して受講者を集めることができました。

■ 受託 パソコン教室

1. 耳成地区公民館パソコン教室

耳成地区公民館の協力が大きく、下期も定員の20名が8回シリーズの講座に参加、皆さん熱心に受講されました。最終日には館長から全受講者に修了証書が手渡されました。午後には何でも相談を実施しました。



2. 天理市パソコン教室

本年度上期は樺本公民館、下期では市役所の会議室で実施しました。下期では定員が20名にもかかわらず、会場が便利な初の市役所ということもあり申し込みは30名を超えましたが、会場が広いため全員を受け入れ実施しました。



3. NTT電友会『パソコン教室』

上期の総合コースに引き続き下期は耳成公民館及びNTT大安寺ビルにて年賀状コースを実施しました。毎年受講されている方も多く、皆さん技術の進歩がみられました。これで長年続いた電友会奈良支部のパソコン教室は終了となりました。



4. 天理市いきいきはつらつパソコン教室★

昨年度から引き続き天理市メディカルセンターでシニアの健康寿命の増進を目的として実施。本年度は2回/月のペースで4～6月及び9～11月に実施しました(下期は文書作成、デジカメ、インターネット)。2年間続いた天理市生き生きはつらつパソコン研修も終了となります。



■ スマホ講座

昨年に引き続き5月からほぼ1回/月のペースで計12回シニア対象のスマホ講座を高田市市民交流センターで実施しました。仲間づくりや孫との対話等にスマホアプリを安全に活用して、健康寿命を延ばすことが目的です。(下期はFB、ラジオ、YouTube、ネットショッピングなど)。昨年参加した受講生(OB)もオブザーバー等として参加しています。最終日はスマホのマップを活用して近くの名所を散策、撮った写真をFBへアップします。



■ e-AAC パソコン教室(自主事業)

受講者の募集が厳しい大宮教室、学園前教室では奈良市教育委員会の後援により、広報誌に申し込み案内を掲載した結果、受講生を集めることができました。

1. 大宮教室: e-AAC 大宮事務所(土曜日)

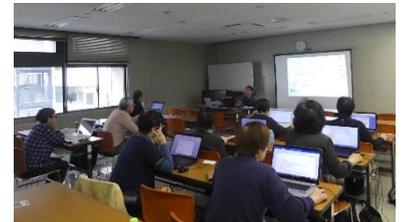
- 土曜パソコン教室: 第1, 3土曜日実施(下期9回コース)。上期初心者コースに引き続き下期は中級者向けコースを実施。
- 「何でも相談」: 月曜日～金曜日

2. 学園前教室: 西部公民館

- パソコン教室(隔週木曜日午後): 上期のパソコン基礎に引き続き、下期は年賀状・インターネット・メールコース、及びエクセル基礎コースで合計10回実施。
- パソコン趣味の会(1回/月、e-AAC事務所にて実施)

3. 高田教室: (1,3水曜日)。

- 午前: パソコン教室
本年度から、会場を中和労働会館から産業会館に変更して実施(中級者向け、下期12回コース)
- 午後: 何でも相談(会場を中央公民館に移動して実施)



4. 天理中級教室: 天理市市民会館

- 上期に引き続き下期は1月～2月に、天理市パソコン教室の受講者を中心に中級講座(6回コース)を実施。



■ 平成30年度上期の計画

	内容	回数	実施時期
受託事業	市町村職員研修	9コース×2日	9月
	耳成教室	8回(午前)	4月～8月
	天理市初級教室	6回(午前)	6月
	スマホ講座	5回(午後1回/月)	5月～8月
	スマホOB講座(仮称)	3回(午後1回/2カ月)	4月～7月
自主事業	大宮教室	12回(午前)	3月～8月
	学園前教室	7回(午後)	4月～7月
	高田中級教室	12回(午前)	4月～9月
	天理中級教室	6回(午後)	5月～6月

「事務局」からの報告

e-AAC 新年会開催 (2/2)

- ◎ 日時:平成 31 年 2 月 2 日、10:30~14:45
- ◎ 会場:奈良県文化会館 第 3 会議室、参加者:28 名

■第1部:講演会 10:30~12:00

- ◎ 演題:万葉集の出発～持統天皇・藤原宮・あめのかぐやま～
- ◎ 講師:村田正博氏 大阪市立大学名誉教授

概要:万葉集は、数度の編纂作業により、百年ほどの歳月をかけて完成された複合的な歌集。その始発の姿は、持統天皇により藤原宮で作られた、現存万葉集巻一の約3分の1程度の小さな巻物だったと推測されている。この巻物では、巻頭の舒明天皇御製、藤原宮冒頭の持統天皇御製、巻末の藤原宮御井の歌等、この巻物にこもる持統天皇の思いを読み解く糸口かと期待される。



■ 第2部:活動報告

■ 第3部:懇親会

懇親会風景 →

『平成 30 年 e-AAC 十大ニュース』

2月3日に行われた新年会において、恒例の「平成 30 年 e-AAC 十大ニュース」の投票は、参加者による投票の結果、下記のように確定しました。

■テーマ別(満票で 25 票)

- 1 位 パソコン市民講座の継続
- 2 位 子どもゆめ基金事業採択拡大
- 3 位 明日香村基盤整備事業の継続(平成 27 年～現在)
- 4 位 奈良県市町村職員研修会 11 年連続受託(平成 20 年～)
- 5 位 天理パソコン市民講座の拡大
- 6 位 下市町の e-AAC 自治体会員入会[ちょっとアドバイス]
- 7 位 「スマホとモラル」の啓発活動6年継続(奈良県助成事業)
- 8 位 奈良県遊技業協同組合補助金の5年継続(平成 26 年～)
- 9 位 15 年目に入った e-AAC 経営基盤の確立
- 10 位 14 年継続中の自治体会員(天理市、葛城市)
- 11 位(同数 4 テーマ)
 - ・NTT 電友会教室の継続(9 年継続)
 - ・「ものづくり教室」の公民館活動(平成 30 年 9 つの公民館)
 - ・パソコン講座、のべ参加者累計 11,456 名(平成 22 年～)
 - ・草の根サイバーセキュリティ全国運動に参加(平成 27 年～)
- 15 位 高田シニア・スマホ活用講座の 2 年継続(平成 29 年～)

子どもゆめ基金 採択実績 (独立行政法人 国立青少年教育振興機構)

年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度(申請中)	合計
講座数	2	2	9	10	17	14 +	40 +

NTT 電友会パソコン教室の終了

平成 22 年より、毎年実施してきた電友会パソコン教室が 30 年度で終了しました。7 年～9 年間に亘り、大安寺コース及び耳成コースを実施できたことは関係者のご努力によるものと感謝に堪えません。ありがとうございました。今後は、電友会の皆さんが、パソコンについて知りたい時は、e-AAC が各地で実施しているパソコン教室に参加することになります。

☆編集後記(ご挨拶)☆

会報 21 号をもって会報担当を引継ぎさせていただくことになりました。創刊号のころは不安定で読みにくいところもありましたが、昨今は安定した会報へと、成長できたと思っています。これも部会長をはじめ会員の皆様のご協力の賜物です。長い間ありがとうございました。(佐藤誠治)



佐藤さんには、創刊号(2009 年 4 月 1 日発行)から、10 年間継続して、会報の編集に携わっていただきました。e-AAC の活動の成果を、社会に発信することができ、佐藤さんのご尽力に感謝を申し上げます。これからも、編集方針を継続して社会に貢献して参ります。(e-AAC 編集部)

e-AAC 会員募集

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。正会員、特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思っております。事務局までご連絡ください。

- ◎ 正会員・個人会員・賛助会員
- ・自治体会員

Tel/Fax: 0742-36-8520
e-mail: e-acc@kcn.jp

協賛団体



発行

特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部
(ご連絡先) e-mail: e-acc@kcn.jp
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/